

(5) 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。



手紙書きたい！

6月、毎年地域の方から、米作りを教えてもらっている。プランターでの苗植えだが、土は隣の小学校で使っている田んぼの土を代々使用。水と土をこねる。「うー重たい。」と、泥んこになりながらプランター田んぼの完成！苗植えを終えるまで、丁寧に教えてもらった。しばらくして子どもから、「ありがとうの手紙を渡したい。」と、話してきた。「喜んでくれるんじゃない！」と絵手紙を描いた。数日後「苗はどうだー？」と来園してくれた〇さんに直接手紙を渡すことができた。〇さんから「うれしいねえ、ありがとよ。」と言ってもらえた。

保育者の援助と環境構成

子どもたちには、いつも地域の方々に見守られていることを話しています。地域社会で育つ子どもたちが、幼い頃から地域とつながれる機会を大切にしています。苗植えを教えてもらった「ありがとう」の気持ちはその場でも伝えましたが、「手紙を渡したい。」という気持ちを受け止め、描きやすい紙を用意しました。暑い夏も苗の様子を見に来てくれる〇さん、温かい気持ちは、子どもたちの心に届いています。



一緒に運ぼう！

深まりゆく秋、近隣の小学校1年生との交流。今日のテーマは「ボールを使って遊ぼう。」まずは心ほどこから始めた。一緒に園でやっている体操をして「なべなべそこぬけ」をした。次第に照れくさは、ほどけていった。最後に「じゃーん！」と小学校の先生が巨大ボールを転がしてきた。歓声上がり、布を使ってボール運びを楽しんだ。1年生からは、「手を離さないでいくよ、上手！」と言われていた。

保育者の援助と環境構成

交流前に、小学校の先生、園の保育者で交流の話し合いを数回行っています。日常の様子やどんなことに配慮したら互恵性のある交流になっていくかなどです。園の保育者も体操の場面などは前に立ちました。様々な大きさのボールや三角コーン等は、事前に用意しておきました。



ありがとうの気持ちをもつ

勤労感謝の日がある11月、日野消防署員の方が、消防自動車に乗って来園してくれました。消防自動車の中には何が入っているのかを、教えてもらいました。長い長いホース、いろいろな機械等。保育者が消防服を着て命を守る酸素ボンベを背負わせてもらいました。「重たいー！」これを背負って消火活動、大変なお仕事です。

